

# 特別支援教育関連メールニュース

2024年12月号 (Vol.7, No.2)

日本作業療法士協会 制度対策部 保健福祉課 障害児支援班 (教育領域支援推進チーム)

## ● 1回目：「教育領域への作業療法士参画に向けた意見交換会」の報告

例年は半日で行っていた「教育領域への作業療法士参画に向けた意見交換会」を、2024年度は過去のアンケートより、「グループディスカッションの時間が短い」という意見が複数寄せられたことから、年2回に分けて時間を長く確保できるよう企画しました。1回目は9月21日に2県士会より活動報告を行ってもらい、グループワークを通して次年度に向けた各県士会の取り組みの参考にさせていただくため情報交換の場を設けました。

話題提供①「香川県作業療法士会における特別支援教育に関する実践報告」について前田悠志氏より報告があり、POSサポート委員会で他職種と協働しサポートマップを作成し活動していること、子どもサポート委員会では6つの班に分かれての活動報告がありました。6つの班の活動では保育園や児童クラブへの巡回指導や研修企画、親子教室での発達支援など多岐にわたる活動報告が行われていました。多岐にわたるニーズに応じた柔軟な支援を行い、地域社会と密接に協力して進められていますが、一方で人材不足による業務負荷や活動成果の見える化の検討などが課題として挙げられた報告でした。

話題提供②「京都府作業療法士協会における特別支援教育に関する取り組み～子どもサポートOTチーム～」について長野まい氏より、2007年に12名の部員で「特別支援教育に関する活動」を始められ、現在23名の部員で「障害の有無を問わずサポートの必要な子どもの支援」に関する幅広い活動報告がなされました。近年の活動として医ケア児に関する交流会で部員を増やし、「[特別支援教育に生かす作業療法の知と技](#)」の改訂や、学校訪問・幼児教育アドバイザー事業への参画を報告されました。

グループワークは、オブザーバーとして参加された県士会員も含めてランダムに配置したことで、活発に意見交換されていました。県士会としての特別支援教育に関する専門部署の体制づくりや、学校や学童・保育園といった多岐にわたるOTのニーズに対して人材不足・育成の課題が議論されていました。

## ● 2回目：「教育領域への作業療法士参画に向けた意見交換会」開催について ＜ 士会員の皆様にご案内ください ＞

【日 時】2025年1月21日(火) 20:00~21:30 (ZOOM)

【テーマ】「特別支援教育に関する最近の動向とOTの参画状況について(仮)」

【講師】酒井康年氏(日本作業療法士協会常務理事)

【内容】・酒井常務理事による講演

- ・「学校を理解して支援ができる作業療法士の育成研修会」基礎編と実践編の開催手順に関する説明(協会制度対策部保健福祉課)

※グループワークは予定していません。質疑の時間はとらせて頂きます。

【参加対象】日本作業療法士協会員 人数制限はありません(無料)

士会員の皆様にもご案内ください。

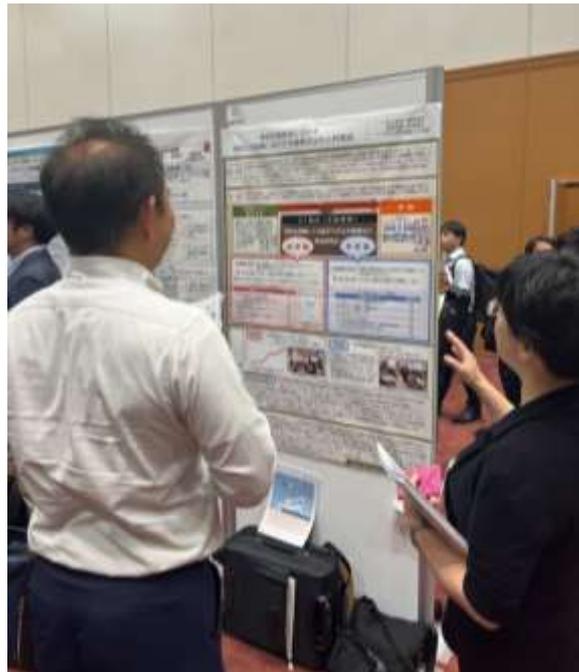
【参加登録】申込フォームより登録ください <https://forms.gle/cY6tdh8KuPKLFahb8>

## ● 第62回 日本特殊教育学会でのポスター発表報告

9月6日～8日に福岡国際会議場で、「特別支援教育における学校との協働に向けた作業療法士の人材育成」というテーマでポスター発表を行いました。この学会は、障害児教育の科学的研究の進歩発展を図ることを目的とし、特別支援教育に関わる教員や児童福祉領域の専門職などが集まる学会です。ポスター発表への来訪者は多く、「作業療法士」というキーワードが入っていたことで、興味を持って聞きに来てくれた方が40名以上と例年よりも多い状況でした。

来訪者からの反応として、放課後等デイサービスのエリアマネージャーから「OTの求人をかけても全然集まらないので、OTは福祉に興味がないのか？」との質問を受けたり、通級の教員から「OTに研修会講師を依頼したのだが、コネクションがないのでどうしたら良いか」といった各地域でのOTのニーズが高まっており、各県士会とのマネジメントを行いました。

各地域、各校種や職種に関心ごとや困りごとを把握したり、都道府県士会を紹介したりするなど、ポスター発表以上に草の根的な活動の役割も担っており、本学会での発表には意義があると感じています。



## ● APOTC (アジア太平洋 OT 学会) でのポスター発表報告

11月6日～9日に札幌コンベンションセンターで、“Educational practice to train school-based occupational therapists by the Japanese Association of Occupational Therapists” というテーマでポスター発表を行いました。6日10:00～の待機時間には、台湾、韓国、インドネシアのOTから学校と作業療法士の連携や人材育成に関する質問があり、各国の現状と課題について意見交換をすることができました。



意見交換ができた国においては、どこも学校と作業療法士の連携に必要な性を認めつつも、人材育成を含めた共通の課題を抱えており、日本における人材育成研修（学校を理解して支援ができる作業療法士の人材育成研修会基礎編・実践編）に注目する様子もみられました。